



7つの受賞活動が決定

優れたメセナ（芸術・文化振興による社会創造）活動に貢献した企業や団体を表彰する「メセナアワード」。本年は107件（99社・団体）の応募案件の中から、メセナ大賞をはじめとする6件の受賞活動、および特別賞として文化庁長官賞1件が選ばれました。

受賞活動

◆ — メセナ大賞 — 全日本製造業コマ大戦協会 ● 全日本製造業コマ大戦

◆ — 映画の地球儀賞 — 岩波不動産(株) ● エキブドシネマ — 埋もれた名作映画の発掘上映 —

◆ — 学びの玉手箱賞 — SCSK(株) ● CAMa(Children's Art Museum & Park)

◆ 対話でアート賞

(株)損害保険ジャパン／(公財)損保ジャパン美術財団
● 未来を担う小中学生を対象とした対話型美術鑑賞教育支援活動の展開

◆ タムタムしま賞

トヨタ自動車(株) ● アートマネジメント総合情報サイト「ネットTAM」

◆ 光る町なみ賞

村上町屋商人会 あまんど ● 町屋に光を当て、町を活性化させ、町屋を守る商人の挑戦

◆ 特別賞文化庁長官賞

三菱地所(株) ● 障がいのある子どもたちの絵画コンクール「キラキラとアートコンクール」

2013年度のメセナアワード

企業メセナ協議会は11年に公益社団法人へ移行するにあたり定款を見直し、メセナの定義を従来の「芸術文化支援」から「芸術・文化振興による社会創造」へと変更しました。

これを反映させ、本年はアワードの対象となる芸術・文化ジャンルに「生活芸術」「デザイン」「ファッション」「ものづくり」を加えて募集と選考を行いました。

その結果、ものづくりの技術で日本経済を支える中小製造業が連携した活動がメセナ大賞に選ばれたことは、メセナ概念が大きく広がった現れだといえるでしょう。

また、長年にわたり多くの人々に感動を与えてきた活動、芸術を通じた次世代育成、アートによる人づくり、まちづくりに取り組む活動が受賞されました。

惜しくも今回は受賞されなかった活動もそれぞれが特長をもち、企業独自のノウハウやネットワークをいかした活動や、地域と一体となった活動、常に課題と向き合い進化を続けている活動など、企業メセナの可能性が無限であることを社会に示しています。今後の展開に目が離せません。

〔顕彰部会長 (株)資生堂 岡田恭子〕

●メセナ大賞

全日本製造業コマ大戦協会
——【全国】——
全日本製造業コマ大戦

ものづくりの技術で日本経済を支える企業が、意地と誇りを賭け、自社開発のコマを回して直径25cmの土俵で闘う。それが全日本製造業コマ大戦である。

中小製造業の経営者の集會に置いてあった、金属製の小さなコマ。3分以上静かに回り続けたそのコマを見た、ミナ口代表取締役の緑川賢司氏は、町工場の技術とアイデアを喧嘩コマで競うことを思いつく。

製造業の活性化を日々模索していた緑川氏は、SNSを利用して同業者に呼びかけ、2012年2月、21チームによる第1回全国大会を開催した。コマの大きさは直径2cm以下、



G1 第2回全日本製造業コマ大戦
決勝の様子

手で回す、長く回り続けたほうが勝ち、土俵の外に出たら負け、2連勝で試合終了、勝者は敗者のコマを総取り、などが試合ルールである。

単純明快な対戦方法が町工場に受け入れられ、メディアの取材や参加チームの口コミなどが相まって、半年後には企業や学生の約200チームが参戦する第2回大会の予選が行われる。そして、地区予選やエキシビジョンマッチを経た27チームによる全国大会が、「テクニカルシヨウヨコハマ2013」の会場内で実現。現在は第3回全国大会に向けた予選のほか、特別大会が各地で行われ、海外での開催も控えている。

コマ大戦は、経営者たち自身が大会を企画・運営し、中小企業の下請けマインドの脱却を目指す活動でもある。製造業であればほとんどの工場に旋盤があり、コマを製作できる。材質・重さ・形などは問わないため、参加企業は自らコマを企画開発する。新たな技術開発に挑戦したり、技術を補完するために他社と連携したりする企業も現れた。町工場のモチベーションの向上と製造業の活性化、それがコマ大戦の最終的なねらいである。小さなコマには大きな夢が託されている。

評価Point

●産業を支える高度な技術力とものづくりの精神を、コマという遊びで社会に開くユニークな取り組みで、文化の地平を拡大した。●各社が独自性を発揮しながら連携を図り、創造的に産業の活性化を目指している。

● 映画の地球儀賞

岩波不動産(株) —— [東京]

エキブ・ド・シネマ —— 埋もれた名作映画の発掘・上映

岩波ホールは1968年、岩波神保町ビル10階に開館した。主に社会的・文化的な催しのためにつくられ、総支配人となった高野悦子氏が、映画・音楽・学術・古典芸能などの自主企画の講座を積極的にこなすようになる。

中心となった「映画講座」は、内外の名作映画を系統的に上映し再評価を行うもので、上映前に製作関係者が講演し、終映後に観客との質疑応答で作品理解を深めた。毎回の企画はいずれも満員の盛況であり、この活動が、74年、



今年45周年を迎えた岩波ホール場内の風景

岩波ホールでのサタジット・レイ監督「大樹のうた」上映をきっかけに、世界の埋もれた名画を世に紹介する運動「エキブ・ド・シネマ(EQUIPE DE CINEMA: 映画の仲間)」に発展する。主宰は高野氏とフィルム・ライブラリー協議会(当時)

の川喜多かしこ氏。目標は、次のような映画の紹介だ。
①アジア・アフリカ、中南米など日本で上映される機会が少ない国々の映画 ②欧米の映画でも大手会社の取り上げない名作 ③名作であってもなんらかの理由で上映されなかった作品 ④日本映画の名作。

エキブ運動を推進するため、岩波ホールは日本で初めてとなるさまざまな試みを行ってきた。上映前に決めた興行日数を守り、劇場も宣伝費等を負担する精算方式「トップオフの5対5」を打ち出し、映画の発掘・公開・上映終了までを輸入・配給(製作)会社とともに行う。エキブ会員は発足後すぐ3000人に達し、現在もほぼ同数を維持する。以降39年、映画を通じて世界44カ国の社会・文化を紹介し、上映数は200本を超える。

映画製作がフィルムからデジタルに移行し興行システムが激変する中、映画産業の状況は揺れ動くが、「心に響く映画」を上映する「エキブ・ド・シネマ」運動は多くの人々の支えを糧に継続していく。

評価Point

● 45年にわたり、自社ビルを活用して豊かな映画文化を育て、発信する活動を継続してきた。● 優れた映画を通じて世界各国のさまざまな文化や社会問題、状況を日本に紹介してきた。

● 学びの玉手箱賞

SCSK(株) 〔全国〕

CAMP (Children's Art Museum & Park)

ワークショップを通して、子どもたちの「共に創る力」を育む。SCSKグループの社会貢献活動として、2001年に始まったCAMP (Children's Art Museum & Park)のねらいである。国内外のアーティストや研究者等と多彩なワークショップの共同開発に取り組み、全国で実践・普及している。

これまでに開発したワークショップは46種、子どもたちの自由な発想を促し、自発的な創作表現活動を引き出す



CAMP子どもワークショップ

ファシリテーションの手法により運営される。乾電池式の小型コンピュータで動くおもちゃをつくる「クリケットワークショップ」や家族が撮り合った写真を素材に本をつくる「かぞくのひげワークショップ」、子どもたちの想像力で未知の

植物を育てる「くうそう・しょくぶつ・図鑑ワークショップ」等々、「考える」「つくる」「つながる」「発表する」「ふりかえる」といった創作プロセスの中で、自分にあった表現方法を見つけ、協同的に学び、創造性とコミュニケーション力を高めていく。

さらに、より多くの子どもたちに日常的な場で体験してもらおうと、ワークショップを「CAMPA CO」と呼ぶ普及パッケージにして、各地のミュージアムや児童館、学校などへも届ける。必要機材と運営マニュアルを提供するだけでなく、ファシリテーター育成プログラムが組み立てられ、学芸員や学校教諭のほか、学生や社員ボランティアなども担い手となってきた。

12年間で26都道府県、900回近いワークショップを実現。近年は東北の被災地でNPOや大学と連携したり、長期療養施設や発達障がい児通級クラスとの活動にも着手した。子どもたちとともに夢ある未来を創る、息の長い次世代育成の取り組みである。

評価Point

● アーティストや大学等研究機関と連携し、質の高い多彩なワークショップを独自に開発している。● 子どもたちの表現力と多様性を尊重するプログラムを全国のさまざまな場に届け、継続的に展開している。

● 対話でアート賞

(株) 損害保険ジャパン、

(公財) 損保ジャパン美術財団

— [東京]

未来を担う小・中学生を対象とした対話型美術鑑賞教育支援活動の展開

1976年に設立された損保ジャパン東郷青児美術館は、新宿西口の損保ジャパン本社ビル42階にある。東郷青児作品に加え、ゴッホの《ひまわり》をはじめ、セザンヌ、ゴーギャンなど印象派の名画を公開していることでも知られる。

この美術館では、公立美術館のない新宿区の子どもたちに美術鑑賞の機会を提供しようと、2007年から、区の小中学生に向けた次世代育成のためのプログラム「対話型鑑賞教育支援活動」を区と協働で展開している。



対話をしながら作品鑑賞する小学生とガイドスタッフ

「対話型鑑賞教育」は、ガイドスタッフとの対話を通じて、鑑賞者が見たものや感じたことを引き出すことに重点を置く。作家や作品の解説

を中心とした学芸員によるギャラリー・トークとは一線を画すもので、80年代半ばにニューヨーク近代美術館で始まった。

本活動では、ガイドスタッフが各校に赴き事前授業を行ったうえで、美術館の休館日を子どもたちに開放。美術館を訪れたことのなかった子どもたちが、実際に美術館で作品を見て回り、ガイドスタッフとの対話を通じて作品から感じ、発見したことを言葉にする。友達の言葉にも耳を傾け、自分なりの考えを育む。

ガイドスタッフは区報やネットなどで広く募集した市民ボランティアで、社員も参加している。「本物の芸術を子どもたちと一緒に楽しみたい」と、60名ほどが研修を経て子どもたちとの対話に取り組む。

活動開始以前には、区内小中学校での美術鑑賞教育の実施率は全体の2割程度だったが、現在では29のすべての小学校と全10校の中学校のうち7校で実施されるようになった。区外からの要請にも可能な範囲で対応し、同様の動きが全国に広がることを期待している。

評価Point

● コレクションを活用し、地域の子どもたちに向けたきめ細かな対話型鑑賞教育支援活動を着実に展開している。● 地域団体や市民ボランティアと連携しながらも主体的に活動を行っている。

● タムタムしま賞

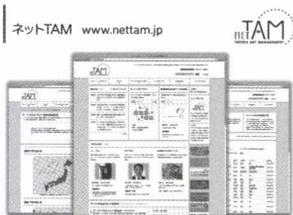
トヨタ自動車(株) 〔全国〕

アートマネジメント総合情報サイト

「ネットTAM」

社会とアートをつなぐアートマネージャーを育成したい
―「人材育成」を社会貢献の重点領域とするトヨタ自動車
が「トヨタ・アートマネジメント講座」(TAM)をスター
トさせたのは1996年、まだ「アートマネジメント」の
概念が浸透していない時期である。2004年3月までに
32地域で計53回開催し、のべ1万人が参加。後にさまざま
な分野で活躍する市民プロデューサーや、アートNPOの
萌芽となる団体が多く参加し、TAMを機に新たな一歩を
踏み出した。

旬の話題や関連知識など
幅広い情報を掲載



この間に大学でも関連学科
が増え、文化による地域活性
などが展開されてきたことか
ら講座形式を終え、蓄積した
情報やノウハウをより開かれ
たネットワークで共有しよう
と、アートマネジメントに関

する総合情報サイト「ネットTAM」を04年10月に開設
いまや年間650万ページビューのアクセス数を誇る。

アートマネジメントが学べる教育機関や関連書籍など基
本情報を集約するほか、タイムリーな情報発信ができる利
点をいかし、最新の助成金情報やアートの現場で活躍する
人たちの「リレーコラム」を毎月更新、本年4月で連載
100回を迎えた。他にも、入門講座にあたる「アートマ
ネジメント事始め」や「芸術環境KAIZENファイル」
「震災復興におけるアートの可能性」など、ニーズに先駆
けるコンテンツを設けてきた。

中でも「キャリアバンク」は、アート業界の就労状
況を一変させた掲示板で、05年の開設から昨年までで累計約
7000件もの求人情報が掲載され、多大な雇用の機会を
創出している。

アートマネジメントの普及と基盤整備に大きく貢献して
きたネットTAM、より身近で活用されるサイトを目指
し、開設10周年の新展開を構想している。

評価Point

● WEBによる情報発信で「アートマネジメント」の
概念を社会に広げ、アートの携わる人々の下支えをし
ている。● アートの現場が求める人材と働きたい人と
のマッチングに貢献し、雇用を生み出している。

● 光る町なみ賞

村上町屋商人会あきんど——【新潟県・村上】

町屋に光を当て、町を活性化させ、町屋を守る商人の挑戦

城下町村上市の旧町人町には、多くの町屋が残る。アーケードやアルミサッシに覆われた店舗の外観からは想像もつかない空間が、店奥に広がっている。

1995年、その旧町人町に開発計画が持ち上がった。村上伝統の鮭料理を守る味匠きつつ川の吉川真嗣氏は、全国町並み保存連盟の会長であった五十嵐大祐氏より商店街の「近代化による衰退」を教えられ、全国の商店街を視察。町屋こそ村上の財産でありシンボルと確信した吉川氏は、町屋をいかした町づくりを始める。



町屋の中で家の人形を展示し公開する「町屋の人形さま巡り」

最初の取り組みは、町屋の公開である。活動に賛同した地元老舗22社が集い、98年に村上町屋商人会が結成された。来訪客に町屋内部を公開し、

さらに住民が生活空間を説明するという、他に例を見ないスタイルが注目され、町内を散策する観光客の姿が徐々に増えてくる。住民にとっては、町屋はすばらしい資源であるという気づきにもなった。

商人会は、さらに町屋に光を当てるべく、春には町屋の住民が所蔵する人形を茶の間に展示する「人形さま巡り」を、翌年の秋には祭のしつらえとして屏風を飾る風習を復活させた「屏風まつり」を始めた。これらのイベントには毎年約70軒が参加し、商店のみならず地元小中学校の生徒、隣接する温泉街、交通機関や行政が協働して、約10万人の観光客をもてなす。

「まずことを起こして人を巻き込む」という手法をとった商人会の町づくりは、旧町人町の商店や村上の住民を確実に動かした。さらに商人会メンバーは「黒塀プロジェクト」や「町屋再生プロジェクト」を始め、村上の町全体の景観づくりへと活動を発展させている。商人たちの志と市民自らの町づくりは、これからも広がっていく。

評価Point

●老舗の商人たちが集い、生業にもとづく文化と歴史を紹介することで、地域全体が元気になっている。●城下町に伝承する文化に根ざした地域創造で、優れたまちづくりの取り組みである。

●文化庁長官賞

三菱地所(株)

〔東京〕

障がいのある子どもたちの絵画コンクール

「キラキラつとアートコンクール」

「障がいのある子どもたちの可能性を応援したい」との思いから、三菱地所が2002年より主催。社会福祉法人東京コロニーが協力する。なんらかの障がいのある18歳までの子どもたちを対象とした絵画コンクールで、自由なテーマでサイズのみ規定した平面表現の作品を募集する。応募は子どもたちの目標ともなり、思いのままに描いた個性豊かな作品が寄せられる。



表彰式の様子

応募数は年々増加し12年は1764点。関係分野の専門家4名による一次審査で150点の作品が選ばれ、続くグループ社員審査では、例年500名を超える社員が作品の展示される会議室等に足を運び、投票する。優秀賞50点を選出する最終審査と表彰式には三菱地所社長ならびに

三菱一号館美術館館長も参加する。表彰式は、東京・丸ビルホールで受賞者全員に賞状を贈呈、会場が子どもたちの笑顔に満たされる。

優秀賞作品展は三菱地所グループが運営管理する全国6カ所のビル・商業施設で開かれ、2000名を超える来場者を迎える。来場者から受賞者各人へ寄せられたメッセージは本人に渡され、今後の励みにつながる。

障がい者の自立支援を促す側面も持ち、コンクールをきっかけに、現在13名が東京コロニーが運営する障がい者アートライブラリー「アートビリティ」の登録作家として活躍する。また応募作品はすべて「キラキラつとアートコンクール」ウェブサイトにてアーカイブされ、「三菱地所グループCSR報告書」の表紙や、ウェブサイトを見た企業からの依頼で企業冊子やカレンダーなどに使用されている。

子どもたちの絵を描く楽しみを増し、才能の開花や可能性の発見を応援する本コンクールは、子どもたちの生き生きとした心を多くの人に伝え、感動の輪を広げている。

評価Point

●コンクール形式という一歩踏み込んだ活動で、障がい者のアート活動に新たな風を吹き込んでいる。●障がい者の才能を伸ばす機会を提供し、作家活動に向けた自立支援も促している。



メセナ アワードトロフィー

*メセナ大賞、メセナ賞5賞へ贈呈

アーティストに3年間ずつオリジナルトロフィーを制作いただいています。



撮影：鈴木孝正

あした(朝日)2012-2014年 三部作

●
400×400×120mm
アクリル、ステンレススチール

制作コンセプト——relation

芸術文化を通して、人々が分野を超え時を超えつながっていかれるようお願いを込め、一本の線を積み重ねることで個々のトロフィーの図像がひとつにつながって紡がれてゆくアートワークを制作します。それぞれの取り組みはもちろん、それが連なった時にも、また別の大きな夢を描けるよう、つながり受け継がれるような絆が結ばれることを願います。

テーマ——Licht

「Licht」はドイツ語で「光」や「明るさ」、そして「希望」を意味します。各年の各賞、三年間連続した大賞に刻まれている図像は、徐々に夜明けを迎えて、「雲間から光が広がる空の時系列」を追ったイメージを持って紡がれます。2012-2014年度大賞 三部作 タイトル[あした(朝日)]
2013年度メセナ賞 五部連作 タイトル[しののめ]

※「メセナ大賞部門」のトロフィー制作にあたっては、
[株]ワコールアートセンターにご協力をいただきました。

川上幸子 | かわかみさちこ

1984年生まれ。2009年京都造形芸術大学大学院芸術表現専攻修士課程修了。大学では一貫して彫刻を学ぶ。「知覚と造形」をテーマとし、近年は特に「知覚における「見え」」を主軸に、「目で触れる」感覚を追った造形作品を制作。ミニマルな方法論・素材の特性・描画技法の組み合わせで、さまざまな支持体の中に視覚的触感のある図像を生み出している。10年「SICF11」にてスパイラル奨励賞を受賞。

メセナ アワード2013贈呈式

2013年11月21日[木]

スパイラルホール[東京・表参道]にて

- 受賞企業・団体には、表彰状とトロフィーを贈呈
- 受賞企業・団体の代表者、選考委員が出席

受賞企業・団体プロフィール

◆——メセナ大賞

全日本製造業コマ大戦協会[2013年10月現在]
事務局所在地：神奈川県横浜市
業種：製造業 | 設立年：2013年
全日本製造業コマ大戦協会構成員数：60人
URL: www.komataisen.com

◆——映画の地球儀賞

岩波不動産(株)[2013年4月現在]
本社所在地：東京都千代田区
資本金：6,000万円 | 業種：サービス
設立年：1968年 | 従業員数：10人
URL: www.iwanami-hall.com

◆——学びの玉手箱賞

SCSK(株)[2013年5月現在]
本社所在地：東京都江東区
資本金：211億5,200万円 | 業種：情報・通信
設立年：1969年 | 従業員数：11,797人(連結)
URL: www.scsk.jp

◆——対話でアート賞

(株)損害保険ジャパン[2013年7月現在] /
(公財)損保ジャパン美術財団[2013年3月現在]
本社・財団所在地：東京都新宿区
資本金 / 正味財産：700億円 / 13億4,900万円
業種：保険 / 財団 | 設立年：1888年 / 1976年
従業員数 / 職員数：17,825人 / 10人
URL: www.sompo-japan.co.jp
www.sompo-japan.co.jp/museum

◆——タムタムしま賞

トヨタ自動車(株)[2013年3月現在]
本社所在地：愛知県豊田市
資本金：3,970億5,000万円 | 業種：輸送用機器
設立年：1937年 | 従業員数：68,978人(単体)
URL: www.toyota.co.jp
www.nettam.jp(ネットTAM)

◆——光る町なみ賞

村上町屋商人会^{あざんこ}[2013年10月現在]
事務局所在地：新潟県村上市
設立年：1998年 | 村上町屋商人会構成員数：28人
URL: www.k-shinjii.info/index.html

◆——文化庁長官賞

三菱地所(株)[2013年3月現在]
本社所在地：東京都千代田区
資本金：1,413億73,210,000円
業種：不動産 | 設立年：1937年 | 従業員数：677人
URL: www.kira-art.jp

メセナ アワード 2013 選考委員 プロフィール



赤池 学 | あかいけまなぶ | ユニバーサルデザイン総合研究所所長

1958年東京都生まれ。筑波大学生物学類卒。社会システムデザインを行うシンクタンクを経営し、ソーシャルイノベーションを促す、環境・福祉対応の商品・施設・地域開発を手がける。また、製造業技術、科学哲学分野を中心とした執筆、評論、講演などを行う。2011年より(一社)環境共創イニシアチブの代表理事も務める。



河島伸子 | かわしまのぶこ | 同志社大学教授、文化経済学会<日本>副会長

東京大学教養学科国際関係論専攻卒。英国ウォーリック大学文化政策研究センターリサーチフェローを経て現職。PhD(文化政策学、英ウォーリック大学)。専門は、文化経済学、文化政策論、コンテンツ産業論。著書に『コンテンツ産業論』、共著に『変貌する日本のコンテンツ産業』『イギリス映画と文化政策』『アーツ・マネジメント』など。



榎木野衣 | さわらぎのい | 美術批評家、多摩美術大学教授

1962年埼玉県秩父市生まれ。1990年代初頭より美術を中心に多方面にわたる評論活動始める。著作に『シミュレーションイズム』『日本・現代・美術』『反アート入門』『太郎と爆発 来たるべき岡本太郎へ』ほか多数。キュレーションした展覧会に『日本ゼロ年』(水戸芸術館、1999-2000年)ほかがある。



福岡伸一 | ふくおかしんいち | 生物学者、青山学院大学教授

1959年東京生まれ。京都大学卒。米国ハーバード大学研究員、京都大学助教授等を経て現職。サントリー学芸賞・中央公論新書大賞受賞の『生物と無生物のあいだ』、『動的平衡』など「生命とは何か」をわかりやすく解説した著作多数。他に『世界は分けてもわからない』『フェルメール 光の王国』、近著『やわらかな生命』など。



松岡正剛 | まつおかせいこう | 編集工学研究所所長、イシス編集学校校長

1944年京都生まれ。工作舎設立、オブジェマガジン『遊』編集長、東京大学客員教授、帝塚山学院大学教授を経て現職。情報文化と情報技術をつなぐ研究開発プロジェクトに携わる。日本文化研究の第一人者として私塾を多数開催。著書『松岡正剛千夜千冊(全7巻+特別巻)』『知の編集工学』『日本という方法』『知の編集術』ほか多数。



茂手木潔子 | もてぎきよこ | 上越教育大学名誉教授

東京芸術大学大学院修了。専門は音楽学。国立劇場演出室職員を経て上越教育大学で教鞭を取る。伝統音楽についての研究(越後酒屋唄研究、モースコレクション日本音楽資料研究など)と舞台公演の企画に携わる。2013年の活動は、著書『モースと北斎』、公演企画『伝統芸能見本市～春迎え～』『北斎の音楽(おと)を聴く』『古典の会』など。

[以上五十音順、敬称略]



福地茂雄 | ふくちしげお | 企業メセナ協議会理事長

北九州市出身。長崎大学経済学部卒業。1957年アサヒビール(株)入社。同社代表取締役社長、代表取締役会長などを経て、2008-11年NHK会長。現在アサヒグループホールディングス(株)相談役、(公財)新国立劇場運営財団理事長、東京藝術劇場館長。

※文化庁長官賞については、文化庁担当者が選考に加わりました。

メセナ アワード2013 応募活動一覧

※企業・団体名は応募時点での表記に準ずる[五十音順]

企業・団体名	活動名	本社・団体所在地
[一社]アートフェスタ推進機構	京都アートフェスタアートダイブ	東京
[株]アーバネットコーポレーション	第12回学生限定立体アートコンペティション「アート・ミーツ・アーキテクチャー・コンペティション(AAC2012)／AACポスターコンペ2012／マンションアート設置	東京
青空[株]	展覧会「my home town わたしのマチオモイ帖」	大阪
[株]アンデルセン	アンデルセンのメルヘン大賞	広島
一番食品[株]	飯塚新人音楽コンクールへの32回連続協賛金寄付	福岡
[株]イヤタカ	イヤタカ・スクールコンサート	秋田
[株]イルミナティ	光と音のシンフォニー ライティング・オブジェ 2012	東京
岩波不動産[株]	エキブ・ド・シネマ——埋もれた名作映画の発掘・上映——	東京
[株]インフォメーション・ディベロプメント	次世代育成のための芸術文化活動のサポート	東京
SCSK[株]	CAMP(Children's Art Museum & Park)	東京
大阪ガス[株]	大阪ガス 癒しの音楽(第47回～第50回スペシャル)	大阪
[株]お菓子の香梅	香梅アートアワード	熊本
音羽電機工業[株]	雷写真コンテスト	兵庫
花王[株]	花王ファミリーコンサート	東京
[公財]金谷美術館	地域資源である「房州石」と芸術を核とした地域活性化活動	千葉
京都中央信用金庫	「中信宵山狂言会」の開催	京都
京都中央信用金庫	京都の美術文化向上のための支援活動	京都
[株]きらやか銀行	30年間継続してきた山形県内の小学生による作文集「くらしの文集」刊行事業	山形
[株]グランマーブル	Gallery PARCにおける展覧会・イベントの運営	京都
[株]神戸風月堂	風月堂ホールを中心とした地域における文化発信の役割	兵庫
五苑マルシン[株]	一芸に優れた方々による「なにわ一芸一座」を結成し、福祉施設等へ「芸の出前」をして、芸術・文化による社会創造に貢献し、社会を明るくする活動	大阪
[株]古今伝授の間香梅([株]お菓子の香梅)	古今伝授の間の維持・管理および一般公開	熊本
[株]コスモ・ステージ	横濱・落語を愛する会「馬生ハマ寄席興行」	神奈川
[有]コピーセンター	北のアルプ美術館運営と串田孫一書斎の復元	北海道
[株]サイト	新潟総踊り祭 ～「祭り」を中心とした21世紀型文化創造年間プロジェクト～	新潟
[株]三陽商会	三陽商会アートプロジェクト	東京
[株]4030ホールディングス	音楽とアートによるコミュニケーションサポート	東京

しずおか信用金庫	地域資源循環型もの、人、夢づくり支援活動	静岡
[株]資生堂	資生堂企業文化誌『花椿』(含むウェブサイト、アプリ)の制作および発行	東京
[株]資生堂	shiseido art egg (シセイドウ アート エッグ)	東京
[株]資生堂	美術館の運営	東京
霜降銀座栄会(名探偵★浅見光彦の住む街実行委員会) 名探偵★浅見光彦の住む街ミステリーウォーク2012「鉄路に消えたふたり」		東京
シャネル[株]	CHANEL Pygmalion Days	東京
[株]ジャパンライフデザインシステムズ	江戸美学研究会 EDO DESIGN DIARY『江戸帖』	東京
昭和シェル石油[株]	シェル美術賞の実施を通じた次世代を担う若手作家の育成支援	東京
[株]鈴木工務店	[株]鈴木工務店敷地内建物および茅葺古民家、社長生家旧鈴木邸「可喜庵」における市民の文化活動ならびに住文化の情報発信	東京
[株]Studio Kura	アーティスト・イン・レジデンスと地域芸術祭「糸島芸農」の企画運営	福岡
[公財]スペイン舞踊振興MARUWA財団 [公財]スペイン舞踊振興MARUWA財団の活動		東京
[株]住友倉庫	現代美術のためのレンタルギャラリーの運営、企画展の開催	大阪
[株]セブン銀行	読み聞かせ絵本『ポノロン』の無料配布等による家族・地域のコミュニケーションの応援	東京
全日本製造業コマ大戦協会	全日本製造業コマ大戦	神奈川
[公財]ソニー音楽財団	第10回国際オーボエコンクール・軽井沢 / 第10回国際オーボエコンクール・軽井沢記念ガラコンサート / 第10回国際オーボエコンクール・軽井沢上位入賞者&審査委員コンサート	東京
[株]損害保険ジャパン / [公財]損保ジャパン美術財団	未来を担う小・中学生を対象とした対話型美術鑑賞教育支援活動の展開	東京
大同特殊鋼[株]	大同特殊鋼名演奏家シリーズ	愛知
大日本印刷[株]	ルーヴル DNPミュージアムラボ	東京
[株]竹中工務店	竹中工務店季刊広報誌『approach(アプローチ)』の約50年間にわたる発行・配布を通じた社会への文化発信および普及活動	大阪
[株]千草	千草ホテル中庭PROJECT — アート・ホスピタリティ—	福岡
千島土地[株]	北加賀屋みんなのうえん(北加賀屋クリエイティブファーム)	大阪
千島土地[株]	[-財]おおさか創造千島財団	大阪
[有]千歳商店	レトロフトチトセ ~ 廃れた街と古ビルの再生はイタリアの発想で!	鹿児島
[株]千葉銀行	ちばざんひまわりコンサート	千葉
[公財]弥地域文化支援財団	おもに開館1年の母と子に贈る日本の未来館の運営と、暹筆堂文庫山形館、シベールアリーナから成る「広場」	山形
ディアンドデパートメント[株]	d47 MUSEUMの企画、運営	東京
[公財]DNP文化振興財団	「CCGA現代グラフィックアートセンター」並びに「DNPグラフィックデザイン・アーカイブ」の運営	東京
TOA[株]	日常の音を音楽に 映像作品「花音(かのん)」の制作、放送	兵庫
[株]電通	「人権アートプロジェクト」電通と美術大学の人権ポスター共同制作	東京
[株]電通	「PLAY FOR JAPAN チャリティーコンサート」with 千の音色でつなぐ絆	東京

企業・団体名	活動名	本社・団体所在地
[株]東京国際フォーラム	丸の内キッズジャンボリー2012	東京
東京ミッドタウンマネジメント[株]	Tokyo Midtown Award 2012 アートコンペおよびデザインコンペ	東京
TOTO[株]	TOTOギャラリー・間およびTOTO出版を通しての文化活動	福岡
[株]ともしクリエーションズ	地域情報サイト「ヨコハマNOW」の開設	神奈川
トヨタ自動車[株]	アートマネジメント総合情報サイト「ネットTAM」	愛知
[株]ナカタ・マックコーポレーション	なかた美術館の運営	広島
[株]二期リゾート	山のシュレ Schule im Berg	栃木
ニチバン[株]	現代アート造形作家 瀬畑亮氏のセロハンテープアートの作品創作支援、 個展・グループ展への協賛、セロハンテープアートによる造形美術の創作参加型ワークショップ企画・協賛	東京
[株]ニッセイ基礎研究所	芸術文化プロジェクト室の調査研究業務(「文化からの復興—市民と震災といわきアリオスと」/ 「諸外国のアーティスト・イン・レジデンスについての調査研究(文化庁委託調査)」/ 「World Cities Culture Report」/「文化の祭典、ロンドンオリンピック—東京オリンピック2020に向けて」など)	東京
日本毛織[株]	工房からの風	大阪
日本新葉[株]	日本新葉こども文学賞	京都
日本新葉[株]	日本新葉×黒田征太郎 笑顔のアートプロジェクト	京都
日本出版販売[株]	小さな本 大きな夢 プロジェクト	東京
日本生命保険[相]	日生劇場におけるこれまでの舞台芸術活動のノウハウを活用した復興支援活動 ～七ヶ浜の市民劇団「NaNa5931」による「ゴーへ／Go Ahead」東京公演～	大阪
日本ロレックス[株]	日本列島 知恵プロジェクト	東京
[株] 俄	PLEDGE Pledge of Our Dreams 「夢を誓って、絵本を贈ろう」	京都
[株]白寿生科学研究所	[株]白寿生科学研究所文化復興グループによる「Hakuju Hall」運営	東京
[株]パナホーム兵庫	ギャラリールネッサンス・スクエアの運営と活動	兵庫
[株]原田	ガトーフェスタ ハラダ メセナ活動	群馬
[株]ビー・アール・ジャパン	日本ホビーショー参加海外ゾーン/国民文化祭応援事業徳島2012/国民文化祭応援事業山梨2013	千葉
[公財]東日本鉄道文化財団	駅コンサートの開催	東京
日立公共システムエンジニアリング[株]	ティアラこうとう「アウトリーチ事業」 (東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京シティ・バレエ団による子どもたちのための芸術体験授業)	東京
[公財]ひろしん文化財団	「春の日本画展」「秋の日本画展」	広島
[株]フェリシモ	フェリシモ文学賞	兵庫
富国生命保険[相]	「訪問&チャリティコンサート」から派生・発展した多様なメセナプログラム・コンビネーション	東京
[株]フジカワ画廊	美術館等各展覧会への出品協力	東京
藤田観光[株]	歴史・文化事業の推進活動	東京

富士フィルム[株]	「PHOTO IS」10,000人の写真展」	東京
文明堂製菓[株]	日本とスペイン、スペイン語圏との文化交流活動を、[公財]日本スペイン協会様を通じての助成	東京
[公財]平和堂財団	教育、文化、環境保護活動に対する助成事業	滋賀
[株]ペーパーワールド	ペーパーワールドアワード	大阪
[株]ベッセル	しづや美術館の運営	広島
[株]ホテルオークラ東京	第6回ホテルオークラ「第九」コンサート 演目：L.v.ベートーヴェン／歌劇「フィデリオ」序曲 作品72c / 交響曲第9番 二短調 作品125<合唱付>	東京
ポラスグループ	南越谷阿波踊りを媒介とした地域との交流による、地域文化創造(ふるさとづくり)、地域の魅力づくり活動	埼玉
[株]まちづくりエイティブ	MAD City プロジェクト	千葉
丸藤葡萄酒工業[株]	第24回 ルバイヤートワイナリーコンサート「蔵コン」	山梨
[株]丸屋本社	商業施設マルヤガーデンズおよび同館内コミュニティスペース「ガーデン」の運営	鹿児島
[株]三井住友銀行	第7回三井住友銀行チャリティーコンサート「名曲のおもちゃ箱」	東京
三菱地所[株]	障がいのある子どもたちの絵画コンクール「キラキラとアートコンクール」	東京
三菱地所[株]	三菱一号館美術館	東京
三菱地所[株]	アートアワードトーキョー丸の内2012	東京
[株]武蔵野銀行	「吉田恭子が贈る音楽の花束」学校コンサート	埼玉
村上町屋商人会	町屋に光を当て、町を活性化させ、町屋を守る商人の挑戦	新潟
萌木の村[株]	清里フィールドパレエ&ポールラッシュ・ドリーム・プロジェクト (清里フィールドパレエスタッフによる東日本大震災復興プロジェクト)	山梨
ヤマトホールディングス[株]	クロネコファミリーコンサート	東京
[株]ゆうちょ銀行	ゆうちょアイデア貯金箱コンクール	東京
[株]読売新聞大阪本社	「文化財保存・修復 読売あをによし賞」の運営(選考、表彰、報道)	大阪
[株]リソー教育	リソー教育グループ チャリティクラシックコンサート「第14回 トーマス・コンサート」	東京
LVJグループ[株]ルイ・ヴィトン・ジャパンカンパニー	「エスパス ルイ・ヴィトン東京」によるコンテンポラリーアート創作サポート活動	東京
[公財]ロームミュージックファンデーション	音楽を通じた国際交流と若き音楽家の育成を継続して20年 京都・国際音楽学生フェスティバル2012<20回記念>の開催	京都

メセナアワード2013の運営ならびに応募案件の調査・取材は、企業メセナ協議会顕彰部会メンバーが行いました。

- 岡田恭子([株]資生堂／顕彰部会長) ● 細島 芳(第一生命保険[株]) ● 岡 秀男(中外製薬[株])
 - 中澤宏昭([株]電通) ● 西澤信二(東京急行電鉄[株]) ● 清水義昭(トヨタ自動車[株]) ● 森実尚子(日本電気[株])
- 事務局：● 加藤種男(専務理事) ● 荻原康子(事務局長) ● 坂本麻里絵 ● 阿部絵里子